

別記 データ利活用研修企画・実施業務委託 評価基準

No.	項目	評価内容	配点
1. ワークショップ等の内容			
1	企画提案の総論	企画提案全体として、本委託業務の目的・趣旨を十分に理解した内容となっているか。	10
2	データ利活用の認識	なぜデータ利活用が求められているか理解できる構成となっているか。	15
3	データ利活用の手法	ワークショップにおいて、課題抽出からデータ分析による仮説検証まで、データ利活用に関する一連のフローを効果的に学習できる内容となっているか。	15
4	データ利活用の実践	研修終了後に自らの業務に適用できるようにするための工夫が見られるか。	10
2. ワークショップ等の運営			
5	参加者への配慮	通常業務を行いながら参加することとなるため、研修に参加しやすくするための工夫がなされているか。	10
6	研修効果の測定	研修の目的に対して、研修を行った効果が測定できる提案となっているか。	10
3. 業務遂行能力			
7	実施体制	・ワークショップ等を運営する経験を有しているか。 ・業務実施に当たっての体制は適切か。	10
8	ワークショップ等講師の実績	講師は過去3年(令和元年～3年)においてデータ利活用に係る研修等の講師の実績が豊富であるか。	10
9	スケジュール	想定する業務全体のスケジュールは適切か。	5
4. 提案価格			
10	提案価格	計算式: 配点 × (1 - 見積額 / 予算上限額) ※少数第2位を切り捨て	5

合計 100

評価方法について

1. 採点基準

(1)No.1～9の採点基準は次の5段階評価とする

採点	内容
5	具体的な記述がされ、特に優れた提案がされている
4	仕様書の要件を満たし、かつ具体的に記述されている
3	仕様書の要件を満たしている
2	仕様書の要件を一部満たしていない、一部記述がない
1	仕様書の要件の記述があるか判断できない
0	提案がない場合

※配点が10点の項目は2倍の評価とする。

※配点が15点の項目は3倍の評価とする。

(2)No.10の採点基準は次の計算式による評価とする

計算式	$\text{配点} \times (1 - \text{見積額} / \text{予算上限額})$
-----	--

2. 評価対象

- ・基本的に企画提案書に記載されている内容について評価するものとする。
- ・プレゼンテーションは企画提案書の補足であり、評価する際の参考とする。